



## オーナー家族が稲刈り体験

8/30

門屋ふれあい観光農園の収穫祭が開催され、オーナー家族らが5月初旬に自分たちで植えたコシヒカリを収穫しました。41組150人の参加者はそれぞれ鎌を持ち、家族で協力しながら黄金色に実った稲を刈り取りました。収穫後は炊きたての新米と豚汁が振る舞われ、参加者は笑顔で味わっていました。

◀親子で協力して稲を刈り豊作を喜んだ



## 秋の風情を楽しむお月見会

9/6

第11回お月見の会が丸尾記念館で開催されました。年中行事を伝える会と池新田婦人講座、伝統文化子ども茶道教室によるお茶会が行われ、約200人が抹茶と月見団子を味わいながらお月見を楽しみました。会場は灯籠の明かりに照らされ、琴の演奏で幻想的な雰囲気の中、月が雲の合間から見え隠れしていました。

◀心を込めてお茶をたて来場者へ振る舞う



## 代表入り目指して全力疾走

9/17

御前崎市駅伝チームは12月に控えた「第15回記念しずおか市町対抗駅伝」に向け、浜岡総合運動場で代表選考会を行いました。小学生から一般まで約50人の候補選手の中から20人の代表選手を選ぶ重要な選考会。選手は代表入りを目指し、これまでの練習の成果を存分に発揮してタイムを競いました。

◀1秒でもタイムを縮めようと力走する選手



## 龍神に赤飯供えるお櫃納め

9/23

遠州七不思議の一つであり、県の無形民俗文化財に指定されている「桜ヶ池納櫃祭」が、池宮神社で開催されました。これは約840年続く奇祭で、本年は14人の氏が奉納された61櫃を一つずつ池の底へ沈めて、五穀豊穰(ほうじょう)を祈願しました。お櫃が沈められると、観光客などから拍手が送られました。

◀赤飯が詰められたお櫃を池の中央へと運ぶ